

## 北本市駐車場整備事業経営戦略 改定版

団 体 名 : 北本市

事 業 名 : 駐車場事業

策 定 日 : 令和 2 年 11 月

改 定 日 : 令和 8 年 2 月

計 画 期 間 : 令和 2 年度 ~ 令和 11 年度

※複数の駐車場を有する事業にあつては、駐車場ごとの状況が分かるよう記載すること。

### 1. 事業概要

#### (1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非適用	事業開始年月日	北本市駅西口駐車場 平成24年4月2日 北本市駅東口駐車場 平成29年11月1日
職 員 数	1人(兼務)	施 設 名	北本市駅西口駐車場 北本市駅東口駐車場
種 類	その他	構 造	広場式
立 地	駅	建設後(建替後)の経過年数	北本市駅西口駐車場 13年 北本市駅東口駐車場 8年
駐車場使用面積	北本市駅西口駐車場 300㎡ 北本市駅東口駐車場 143㎡	収 容 台 数	北本市駅西口駐車場 10台 北本市駅東口駐車場 5台
営 業 時 間	24時間営業		
民間活用の状況	ア 民間委託	・北本市駅西口駐車場 施設管理業務及び保守業務を民間委託 ・北本市駅東口駐車場 施設管理業務及び保守業務を民間委託	
	イ 指定管理者制度		
	ウ PPP・PFI		

(2) 料金形態

※近隣駐車場に比較して減免を行っている場合は、その点についても記載すること。

<table border="1"> <tr> <td>営業時間</td> <td>24時間営業</td> </tr> <tr> <td>車種</td> <td></td> </tr> </table>	営業時間	24時間営業	車種		
営業時間	24時間営業				
車種					
普通自動車、小型自動車、軽自動車	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北本市駅西口駐車場 30分ごとに100円 ただし、駐車始期より30分までは無料</li> <li>・北本市駅東口駐車場 30分ごとに100円 ただし、駐車始期より30分までは無料</li> </ul>				
料金形態の考え方	近隣民間駐車場の料金設定、社会情勢等から総合的な判断により、料金形態を決定する。				
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	—				

(3) 現在の経営状況

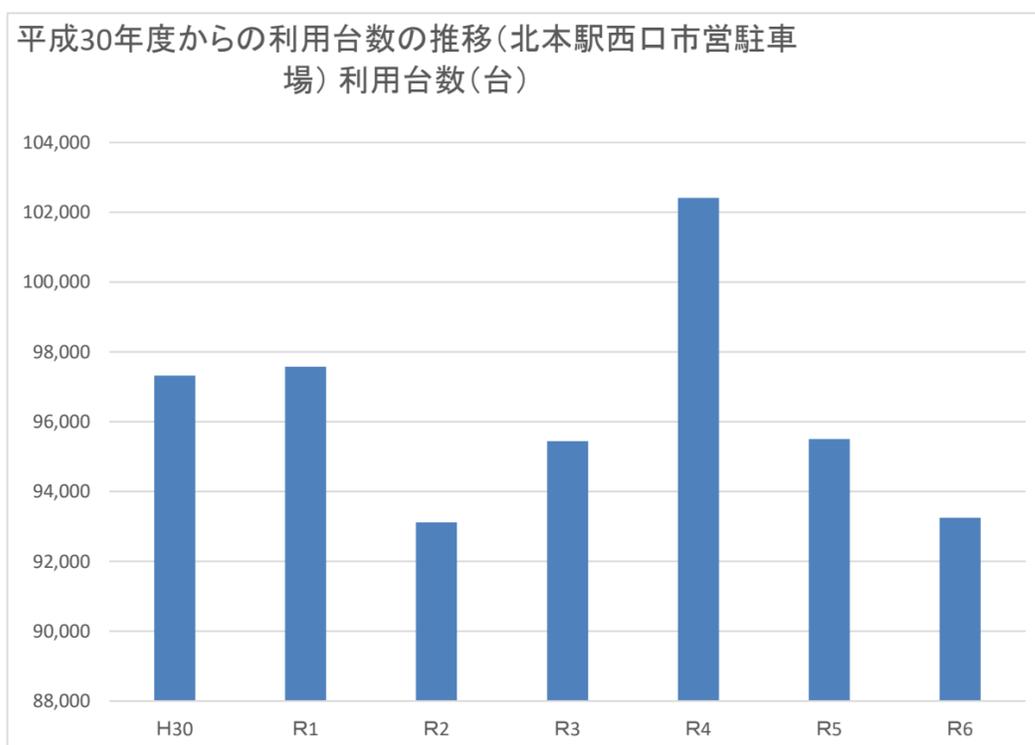
<p>(別紙「経営比較分析表参照」)</p> <p><b>【北本市駅西口駐車場】</b> 本駐車場の稼働率は2620.0%超であり、類似施設(平均314.9%)と比較して利用者が多い。しかし、本事業における収益的収支比率は295.8%であり、類似施設の平均値(2085.8%)を大きく下回っており、これは駐車場利用料金を30分無料としていることが影響している。</p> <p><b>【北本市駅東口駐車場】</b> 本駐車場の稼働率は220.0%であり、類似施設(平均314.9%)と比較して利用者が少ない。また、本事業における収益的収支比率は68.9%であり、類似施設(平均2085.8%)を大きく下回っている。これは、駐車場利用料金を30分無料としていることに加え、料金収入に対して維持管理費は低いものの、公債費負担が高いためである。償還が終了する令和14年度以降は改善する見込みである。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 将来の事業環境

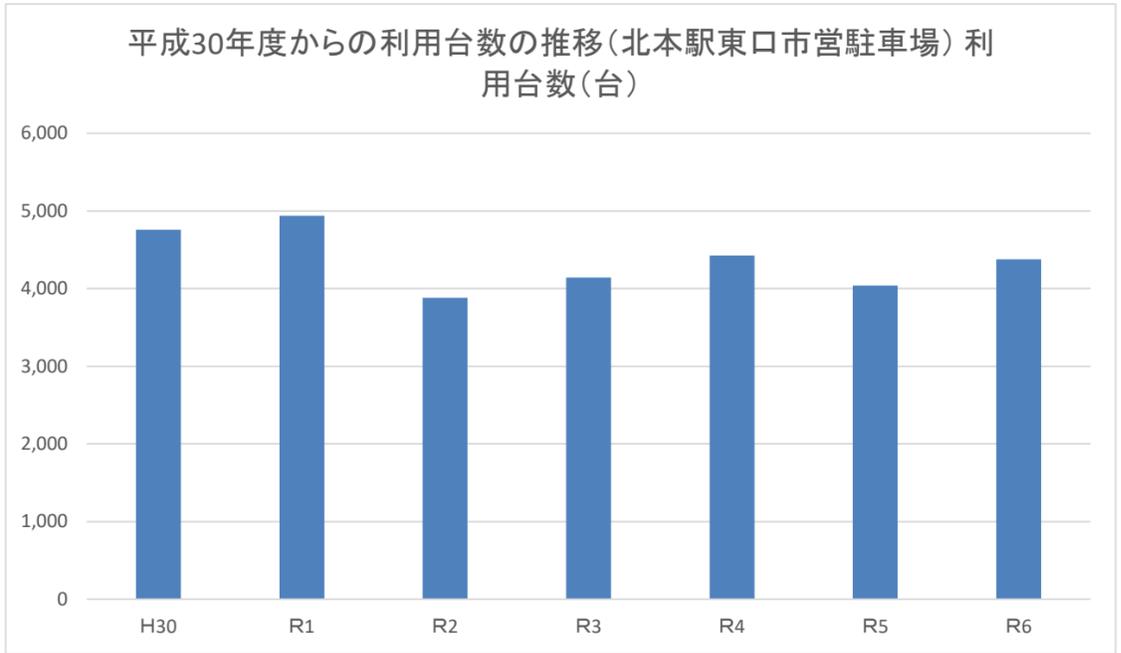
(1) 駐車場需要の見通し

<p>本市の施設は、駅周辺の店舗利用及び駅利用者、通勤通学の送迎時の駐車場として設置されたものであり、駐車開始から30分無料としているため短時間(30分以内)での駐車場利用が多いことから、稼働率が高く、施設の利用状況は良好であると判断している。今後も、施設の需要は高いものと予測している。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

年度	利用台数(台)
H30	97,319
R1	97,581
R2	93,120
R3	95,449
R4	102,414
R5	95,503
R6	93,247



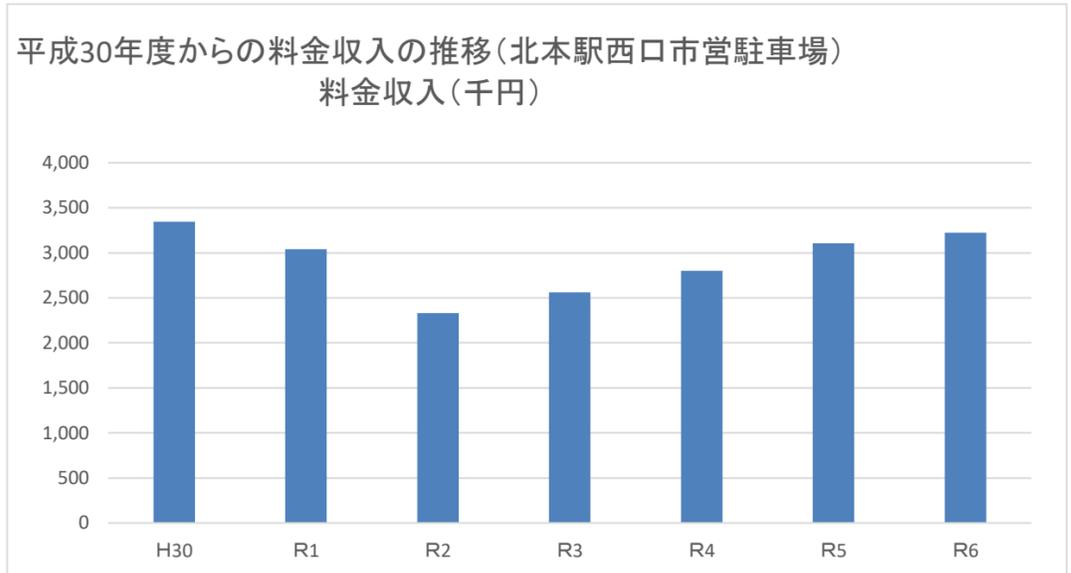
年度	利用台数(台)
H30	4,759
R1	4,939
R2	3,882
R3	4,145
R4	4,423
R5	4,041
R6	4,377



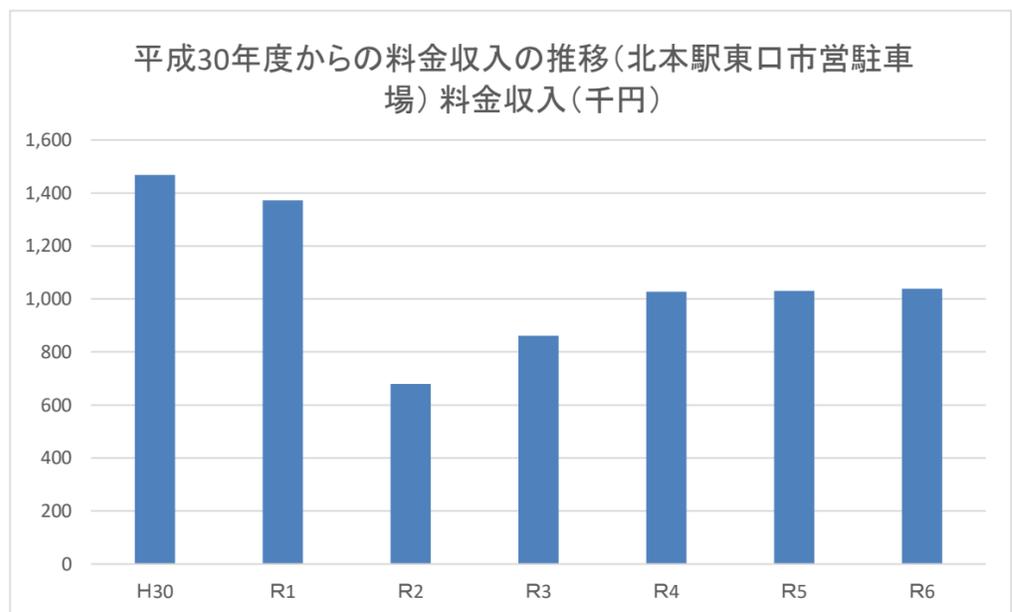
(2) 料金収入の見通し

駐車場料金収入については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により減少したが、その後は安定して料金収入が増加している。今後も安定した料金収入が見込まれる。

年度	料金収入(千円)
H30	3,345
R1	3,042
R2	2,332
R3	2,562
R4	2,802
R5	3,106
R6	3,225



年度	料金収入(千円)
H30	1,468
R1	1,373
R2	679
R3	862
R4	1,027
R5	1,031
R6	1,038



(3) 施設の見通し

北本市駅西口駐車場および北本市駅東口駐車場では、安全性の確保を最優先とし、多くの利用者が快適に利用できるよう、定期的な点検を実施している。点検により、劣化や損傷の状況および原因を適切に把握し、安全性に影響を及ぼす要素に対して迅速かつ的確な維持管理を行うことで、安心して利用できる駐車場の運営を目指す。

(4) 組織の見通し

駐車場事業は、民間委託しており、現在は兼務職員1名体制である。今後も同様の体制で運営する予定。

### 3. 経営の基本方針

・道路交通の円滑化  
駐車場施設を整備することで、路上駐車を削減し、道路交通の円滑化を図る。

・商業支援  
駅周辺への買い物客や事業者の駐車場として、市内の商業を支援する。

・経営基盤の強化  
安定経営を図るため、委託事業者と連携して、営業活動を強化する。

・満足度の高いサービスの提供  
利用者のニーズを的確に把握し、顧客満足度向上に努める。

### 4. 投資・財政計画(収支計画)

- (1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり
- (2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

#### ① 収支計画のうち投資についての説明

目	標	収支計画期間内に大規模な修繕を実施しないように、定期的に施設の修繕を実施し長寿命化・延命化を図る
---	---	--------------------------------------------------

・平成24年度に北本市駅西口駐車場を新設及び平成29年度に北本市駅東口駐車場を新設したため、当面の間は大型投資は不要と見込んでいる。

・施設全体で、一定の修繕費を計上することで、日常的な修繕の対応を行う。

・施設の延命化を図るとともに、円滑な運営が行えるよう、今後の修繕箇所や設備投資等について、検討を行う。

#### ② 収支計画のうち財源についての説明

目	標	営業収益(駐車場料金収入) 令和11年度4,600千円。令和6年度と令和7年度の12月末時点料金収入を比べて、上昇率を元に算出した令和7年度の料金収入の見込みを4,600千円を基に設定。駐車場料金収入の維持を目標とする。
---	---	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

・駅前駐車場使用料が主な収入となる。

#### ③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

・経費の節減、サービス向上に努め、経営の安定化を図る。

・営業費用について、主なものとしては委託事業者への委託料を見込んでいる。委託料以外の経費については、過去の運営実績等から勘案し計画期間中に引き続き必要となるものを見込んでいる。

・支払利息について計画期間内に、新たな地方債の起債を行わない予定であることから、既存の地方債に係る支払利息分についてのみ計上している。

### (3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。  
また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

#### ① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	委託事業者と連携を図り、民間企業のノウハウを活用する。
駐車場の配置の適正化	施設の利用状況などから、総合的に判断を行う。
投資の平準化	修繕箇所や設備投資をすべき箇所を精査することで、計画的な投資を行う。
その他の取組	—

#### ② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金	定期的に近隣民間駐車場の料金設定を確認するとともに社会経済情勢を勘案しながら、適正な料金設定を行う。
利用者増加に向けた取組	利用状況や周辺環境の変化に対応して適切な管理を行う。
企業債	経営戦略策定期間内において現在の企業債以外の発行は考えていない。
繰入金	現在、繰入金なし。
資産の有効活用等による収入増加の取組	駅前の中心市街地に立地し、通学・通勤・近隣の商業施設等の需要があり、収益が見込める場所であるため、効率的な運営に努め、財源の確保に努める。
その他の取組	—

#### ③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	民間委託をしており、施設管理業務及び保守業務を委託する
管理運営費	委託内容を精査し、適切な管理運営費を計上する。
職員給与費	職員1人(兼務)で行う
その他の取組	—

## 5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	各駐車場ともに駅前を中心市街地に立地し、JR北本駅の送迎客や近隣商業施設等の駐車場として機能し、道路交通円滑化を図るための機能を有している。
公営企業として実施する必要性	駐車場事業を継続的に運営することで、道路交通の円滑化を図るとともに、駅前を中心市街地への来訪者の利便性を向上させ、中心市街地の活性化を図る必要がある。

## 6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	経営比較分析表を活用しながら進捗管理を行い、大規模改修時等のタイミングで経営戦略の見直しを行う。
---------------------	--------------------------------------------------